

## 50周年記念「50年前の懐かしい思い出」♪

昭和47年(1972年)11月1日に開設された東淀川区老人福祉センターは、本年めでたく50周年を迎えます。これも皆さま方のご理解とご協力の賜物と、職員一同深く感謝しております。50周年記念に際し、懐かしい思い出についてご寄稿いただきましたので掲載いたします。

### 母と共に

老人福祉センターには母子二代お世話になっている。

私が子育てと生活におわれ、父が亡くなり母を引きとっていったその時は、母もまだ元気で母の行動にはあまり気にもとめていなかった。「今日は健康診断をしてもらった」「〇〇先生がやさしくしてくれ嬉しかった」「友達が出来た」と母は時おり楽しそうに話してくれた。私も手のかからない母に感謝しながら五人の子供達を一人で育てていた。金銭的にも精神的にも大変な頃に、母の認知がはじまり病院に入り、一年ぐらいで亡くなった。九七才であった。

母は若い時からとても美人でよく新聞にも、私には自慢の母で、お話し好きで人の面倒見もよく、歌もよく口ずさんでいた。しかし私は生活におわれていたため、母の話をうんうんと聞いてはいても、あまり真剣に聞いてあげていなかった事をこのごろ後悔する。私もセンターで踊りや歌を習って娘に話すと、うんよかったね、とそっけない。

年をとると、話を聞いてもらえるだけで幸せである事をこのごろつくづく思い、母とゆっくり話してみたいと思うのだ。母子二代センターにお世話になり感謝しつつ。

三浦 君枝



### 50年前の私

出身地 四国 松山です。

略称「しのたん」の学生でした。

流行していたミニスカートに新発売のナショナル製ミニサイクルという姿で20分の通学をしていました。

通学の服装にジーンズのパンツスタイルが話題となった時代でした。

桑畑や農道に囲まれた学外に喫茶店ありません。

学校帰りは校門の前でお迎えの車に乗らないようにと指導先生からの忠告でした。

彼の車? そんなご縁がどこにあるのか不思議に思っていました。

朝8時30分に家を出て5時に帰る日常です。

夜はラジオの深夜放送が楽しみでした。

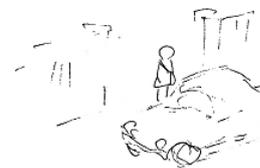
都市発信のは電波が遠くて、音声がとぎれがちなのをなんとか聴いていました。

そんな家と学校を往復する日々。

休まず行っていました。

50年経ちました今も元気です!

祝  
の  
老人福祉センター50周年



清家 和子

## 東淀川老人福祉センター創立50年に寄せて

東淀川老人福祉センター創立50年おめでとうございます。振りかえると当時私は36歳です。老人福祉等考えも及ばない歳だったと思います。故郷を出て昭和34年(1959年)(当時の皇太子殿下が正田美智子さんと御成婚された年)大阪の東三国に住み結婚し、昭和38年(1963年)淡路に越してきました。住まいは何回か変わり現在地で暮らしています。

当時を振りかえると淡路は区の中でした。東淀川区役所は東淡路商店街に警察署・交通安全協会・保健所・健保会館等又映画館も複数あり、野球で有名な浪商学園・北陽高校など淡路にありました。その当時、千里に大掛かりなニュータウン住宅団地が出来ると人気の淡路商店街に大勢買い物にこられ、賑わいの淡路商店街と聞いていました。

その後人口の増加により東淀川区は淀川区と分区され、役所や警察・消防署などは十三と豊里の方に移り、淡路の区役所は支所となり又高校も他所に移り、各地に大型店舗が出来ると商店街は少しずつ寂しくなりましたが、淡路商店街は今でも賑やかだと思います。現在阪急淡路駅と周辺路線高架と周辺街並み再開発工事が進んでいます。東淀川老人福祉センターが淡路にあることは有り難いことです。

離職後73歳位までは市内を走る配送添乗員として派遣要員でした。それまでにお祝いの席などで詩吟を聞く機会があり、これだと思い平成23年(2011年)75歳になって詩吟サークルにお世話になり早くも10年過ぎました。文化祭や新年の集い、誕生会等々楽しみで、何時までか分かりませんがお世話になり頑張ります。

松元 満

## 祝五十周年によせて

東淀川の老人福祉センターが五十周年を迎えるお話を館長さんから聞いた時は、いぶん長い間続いているんだなあ…と思い、改めて振り返り考えてみると親の代からお世話になっていたなあ…と想い、今、自分がお世話になって二十数年の歳月が過ぎて日々元気で過せて居るのは、センターの皆様が常に新しい取組を下さっているお陰だと気付かされ感謝の毎日です。

歌あり踊りあり絵画ありお花があり、俳句、書道、健康体操と、自分に合った科目を選べるのが元気につながっているのだと改めて感じた事でした。健康で過せる日々はとても大切なことです。元気で毎日を過せばお食事も美味しく頂けます。心も弾みます。老も忘れます。気がつけば、こんなにも年を重ねて居たのか?と、つい笑ってしまいます。でも、笑顔も大切です。元気の元です。九月で八十六才になりました。何時まで頑張れるかわかりませんが、これからもよろしくお願い致します。

センターの皆様には感謝と共に厚くお礼申し上げます。

渡邊 宏子

